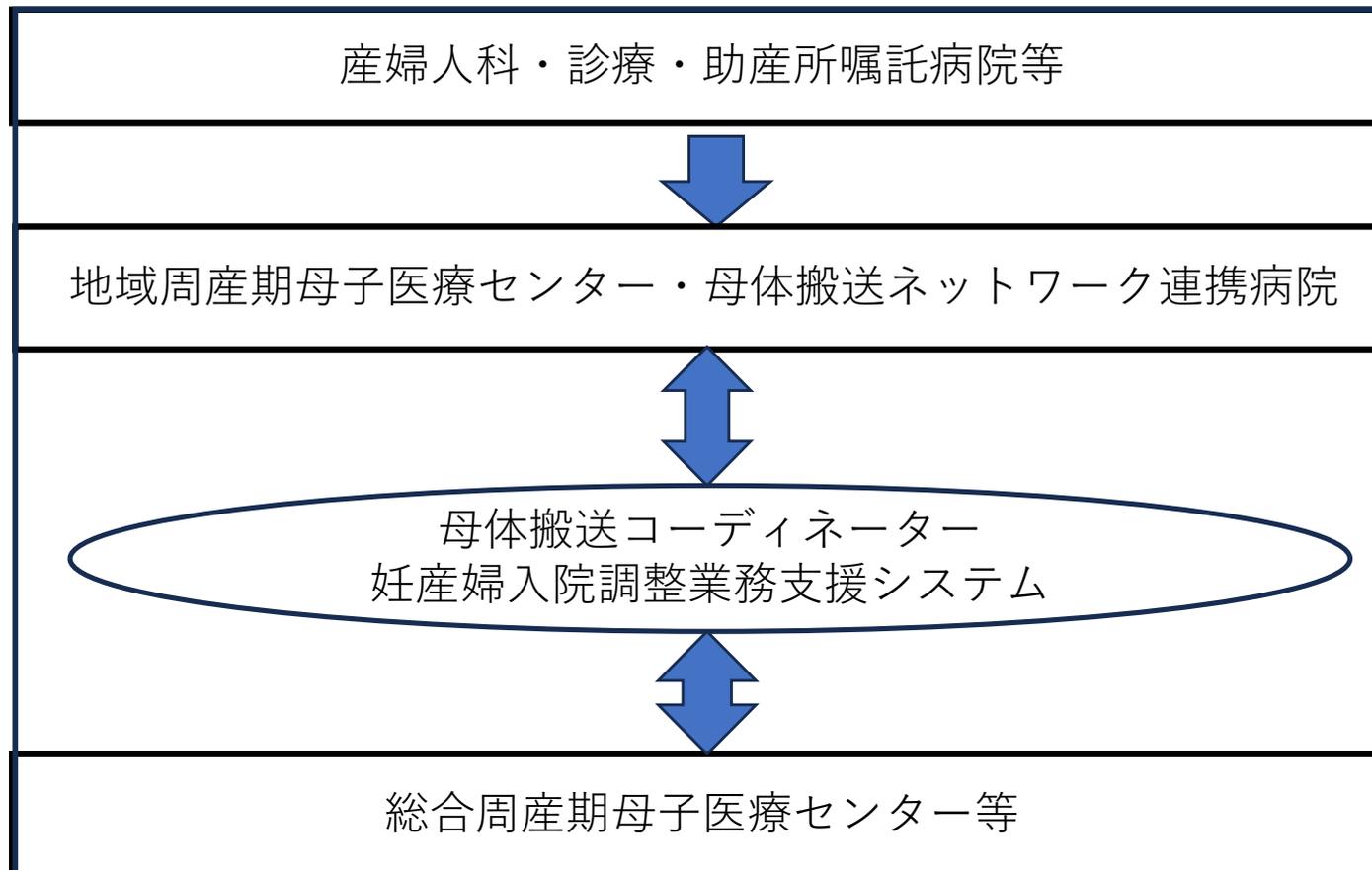


母体搬送ネットワーク連携病院について

国際医療福祉大学成田病院が母体搬送ネットワーク連携病院に加入することについて報告します。

1 母体搬送ネットワーク事業

・千葉県では、千葉県産婦人科医学会の先生方の御協力を得て、平成19年10月より、リスクが伴う分娩が生じた場合に、高度な医療を提供する周産期母子医療センター及び母体搬送ネットワーク連携病院を中心としたネットワークの運用を開始し、平成20年6月から母体搬送コーディネータの運用を開始している。



1 母体搬送ネットワーク事業

現在、周産期母子医療センター 12 医療機関及び母体搬送ネットワーク連携病院 5 医療機関が母体搬送ネットワーク事業に協力。

【総合周産期母子医療センター】

千葉大学医学部附属病院

東京女子医科大学附属八千代医療センター

亀田総合病院

【地域周産期母子医療センター】

千葉市立海浜病院

千葉県こども病院

順天堂大学医学部附属浦安病院

船橋中央病院

松戸市立総合医療センター

成田赤十字病院

東邦大学医療センター佐倉病院

総合病院旭中央病院

君津中央病院

【母体搬送ネットワーク連携病院】

東京慈恵会医科大学附属柏病院

東京歯科大学市川総合病院

船橋市立医療センター

日本医科大学千葉北総病院

帝京大学ちば総合医療センター

2 母体搬送ネットワーク連携病院について

令和6年度周産期医療体制に係る調査（令和5年度実績）

医療機関名	NICU	GCU (診療報酬非加算)	分娩件数	分娩時体重 出生数 (死産数を含まず)						分娩時週数 出生数 (死産を含まず)					ハイリスク 妊娠管理	ハイリスク 分娩管理
				500g未満	500～999g未満	1000～1499g未満	1500～1999g未満	2000～2499g未満	2500g以上	22～23週	24～27週	28～33週	34～36週	37週以上		
船橋市立医療センター	0	0	146	0	0	0	0	5	141	0	0	0	2	144	36	69
東京歯科大学市川総合病院	0	4	143	0	0	0	0	11	132	0	0	0	7	136	10	10
東京慈恵会医科大学附属柏病院	0	0	376	0	0	1	26	66	280	0	0	9	50	314	31	75
日本医科大学千葉北総病院	0	5	76	0	0	0	0	3	73	0	0	0	3	73	0	0
帝京大学ちば総合医療センター	0	0	180	0	0	0	4	23	152	0	0	0	10	169	43	61
国際医療福祉大学国際医療福祉大学成田病院	0	0	190	0	0	0	0	15	175	0	0	0	12	178	31	13

令和6年度第1回千葉県周産期医療審議会資料

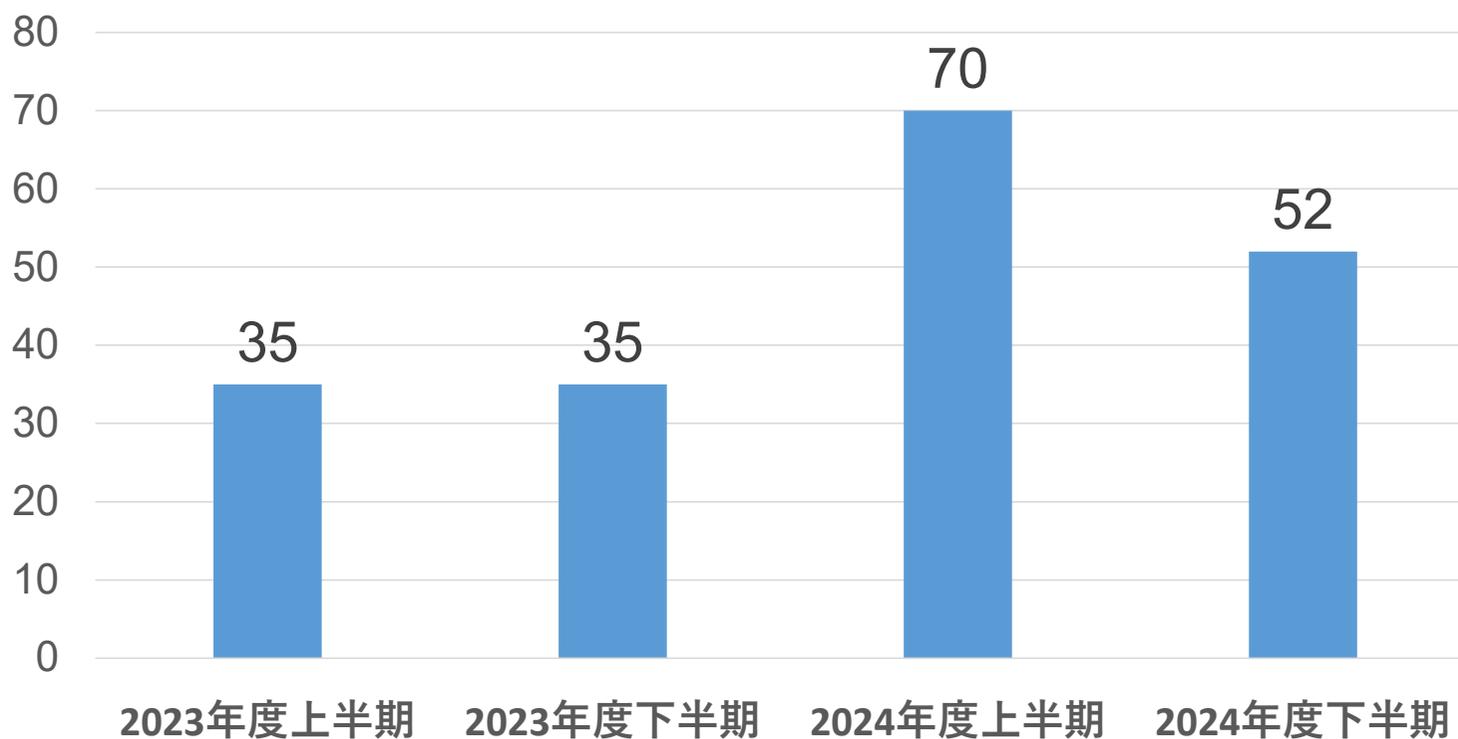
(国際医療福祉大学成田病院新生児集中治療部)



国際医療福祉大学成田病院

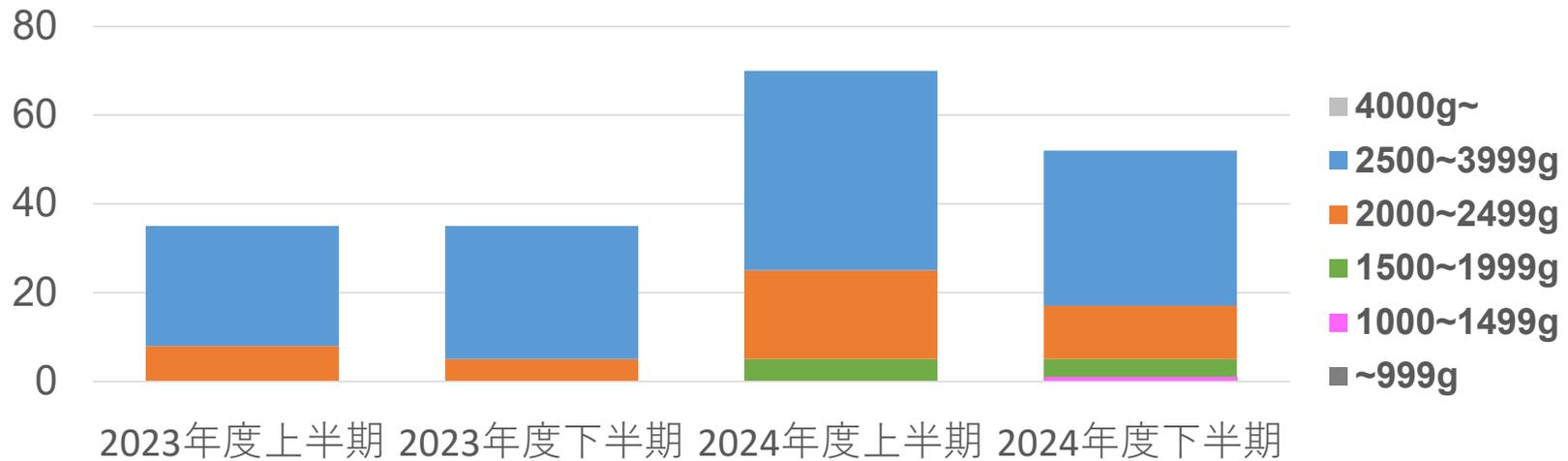
新生児入院実績(総数)の推移

新生児入院実績(総数)



新生児入院実績(出生体重別)の推移

新生児入院実績(出生体重別)

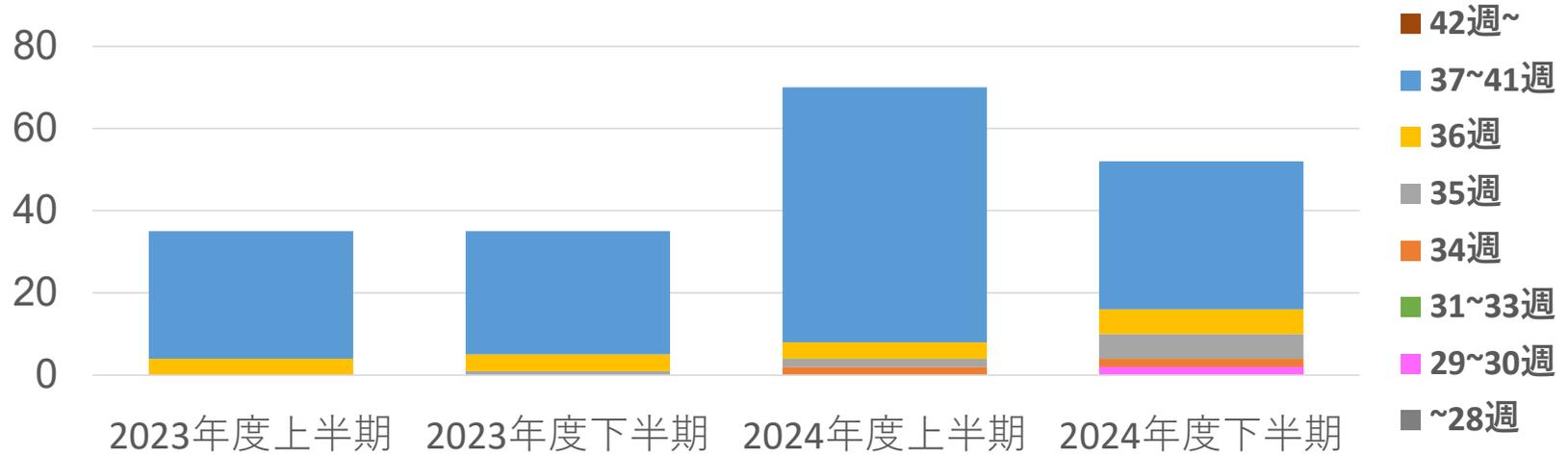


	2023年度上半期	2023年度下半期	2024年度上半期	2024年度下半期
~999g	0	0	0	0
1000~1499g	0	0	0	1
1500~1999g	0	0	5	4
2000~2499g	8	5	20	12
2500~3999g	27	30	45	35
4000g~	0	0	0	0
総数	35	35	70	52

1000~1100gの
児が1名

新生児入院実績(在胎週数別)の推移

新生児入院実績(在胎週数別)



	2023年度上半期	2023年度下半期	2024年度上半期	2024年度下半期
~28週	0	0	0	0
29~30週	0	0	0	2
31~33週	0	0	0	0
34週	0	0	2	2
35週	0	1	2	6
36週	4	4	4	6
37~41週	31	30	62	36
42週~	0	0	0	0
総数	35	35	70	52

29週、30週の
児が1名ずつ

人工呼吸管理実績(重複なしで最大のものをカウント)の推移

	2023年度 上半期	2023年度 下半期	2024年度 上半期	2024年度 下半期
気管挿管	0	0	1	2
NCPAP	9	6	4	3
ハイフローセラピー	0	0	2	7
総数	9	6	7	12

IUHW成田病院 新生児集中治療部の現状とビジョン

受入基準

病床数

ハード面

2025年4月▶

34週~, 1500g~
外科△, 心疾患△

プレNICU(一般病床)
5~6床

組織内で計画
・協議中

'25年10~12月▶

33週~, 1400g~
外科△(CDH×),
心疾患△(手術×)

プレNICU: 5~6床
プレGCU: 2~5床
計8~10床

NICU工事
(シーリングペダントなど)

32週~, 1300g~
外科○~△(CDH×),
心疾患△(手術×)

NICU: 6床
プレGCU(後方一般病床):
2~5床

機器・設備など
順次整備

#当直体制など人員配置も今後の課題

国際医療福祉大学成田病院

産婦人科の診療の状況について

産婦人科 勤務医師

常勤医師数：13名

産婦人科専門医：6名 うち指導医5名

産婦人科専攻医：7名

非常勤医師数：5名（全員産婦人科専門医）

分娩取り扱い件数

年	2020	2021	2022	2023	2024
全分娩数	9	94	132	175	229
12週以降22週未満 (流産・中絶)	1	2	4	8	9
低出生体重児数	2	10	18	13	38
早産(対応週数)	2(36w以降)	5(35w以降)	10(35w以降)	10(35w以降)	18(34w)
双胎(件数)	0	2	4	0	14
帝王切開	2 (22%)	30 (32%)	59 (45%)	56 (32%)	75 (32%)
鉗子・吸引	1	4	17	37	41

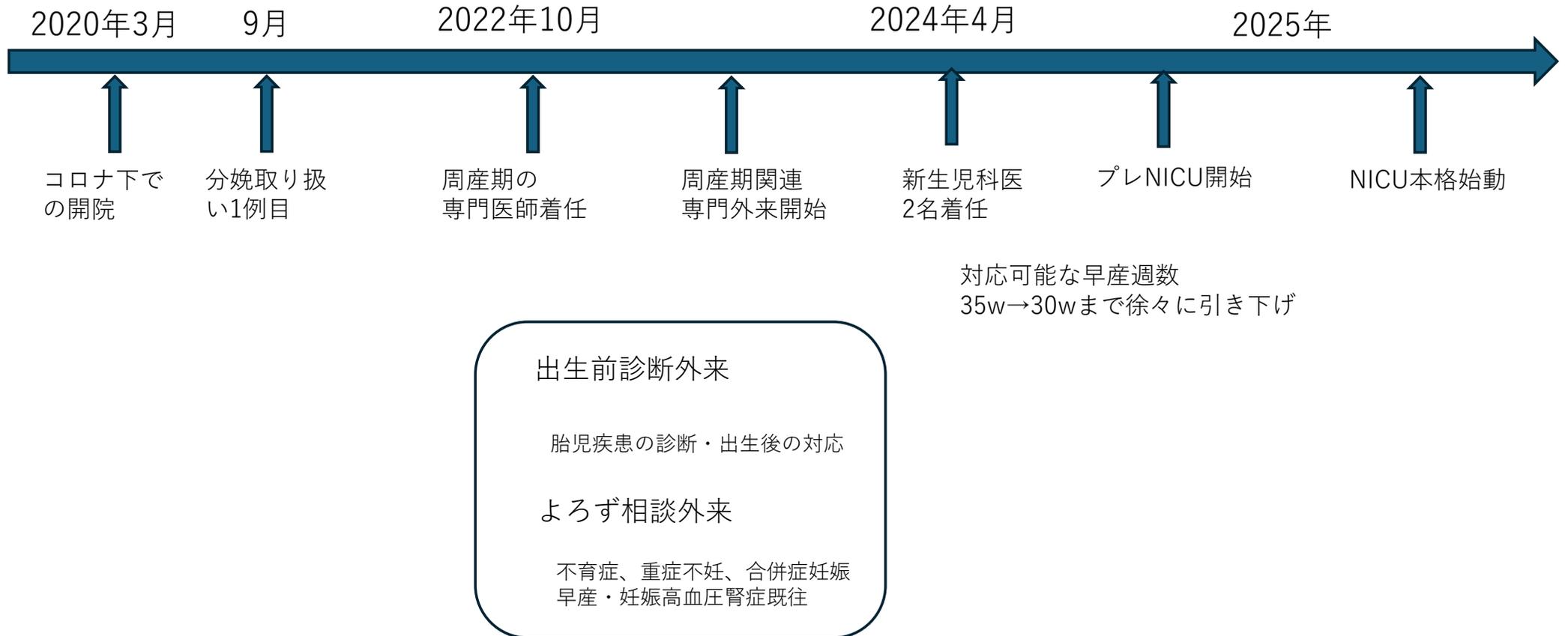
2025年に入り29w、30wの早産児にも対応

* 和痛（無痛）分娩

経腔分娩の約60%程度の方が実施

JALA（無痛分娩関係学会・団体連絡協議会）
登録施設

開院後の周産期・新生児部門発展の状況



2023年1月から周産期、小児科、小児外科の連携した成田バースセンターの発足

3科の密な連携により、妊婦から出生児まで母と子の医療を連続的にサポート

女性と子どもたちの
健康・幸せをめざして



成田バースセンターのご案内

Service

国際医療福祉大学成田病院では、産婦人科、小児科、小児外科が密接に連携した周産期・小児医療を提供する部門として、「成田バースセンター」を開設しました。

成田バースセンターでは妊婦・出産を迎える女性とその子どもたちの健康を万全の体制でサポートします。妊娠前の相談から妊娠中、出産まで妊娠に関わる幅広く対応を行っています。

各部門のご案内

Department

産科部門

妊娠前のご相談から妊娠中～出産まで妊娠に関することに幅広く対応します

- 不妊・不育のお悩み、持病や過去の妊娠に問題があったなど、妊娠前の不安を解消する相談外来（妊娠よろず相談外来）
- 赤ちゃんの異常が心配な妊婦さんへの出生前診断を行う専門外来（NIPT、血清マーカー、胎児超音波検査）
- 和痛（無痛）分娩
- 助産師による妊娠期から出産後までのトータルケア

[詳しくはこちら](#)

小児科部門

小児全般、神経、免疫、アレルギー、こころから先天性の疾患まで、あらゆる小児疾患に対応します

社会の礎であり、かけがえない存在である赤ちゃんを扱うセンターが誕生しました。産科・婦人科部長の永松先生は、東京大学医学部附属病院での多くの経験を積まれ、妊婦さんにとってどんなお産がベストかをわかりやすく説明される方です。医療には、信頼できる医師とわかりやすい説明、真摯な態度が何より大切です。永松先生のもとで大切な赤ちゃんを授かる瞬間を安心してお迎えください。私たち小児科スタッフもそのお手伝いをさせていただきます。

小児科部長 藤井 克則

[詳しくはこちら](#)

小児外科部門

新生児から15才まで小児の外科的疾患（循環器系、脳神経系、骨を除く）に対応します

バースセンターは新しい生命の誕生を迎えるとき母子ともに健康かつ安全であるよう、産科を中心として小児科、小児外科、助産師、看護士などさまざまな医療従事者によるチーム医療で構成しています。これまで都立小児総合医療センターや国立成育医療研究センターなど代表的な小児病院で多くの新生児外科手術を経験してきました。赤ちゃんに先天性な外科手術が必要となった場合でも元気に退院できるよう、私たち小児科、小児科がチーム一丸となってサポートします。

小児外科部長 須本 康史

[詳しくはこちら](#)

診療の状況

* 出生前診断外来 (2023年3月開始)

精密超音波、NIPT、クアトロテスト、コンバインドテスト、羊水検査、絨毛検査

約1年間での受診者数：200名

胎児の異常の疑いがある妊婦に対する紹介対応
出生児の治療に向けたサポート

2023年3月より 「出生前診断外来」 開設のお知らせ

「出生前診断」とは、妊娠中に胎児の状態を調べる検査のことをいいます。出生前診断の主な目的は、出生前に胎児の状態や疾患等の有無を調べておくことにて、生まれてくる赤ちゃんの状態に合わせた最適な分娩方法や療育環境を検討し、準備できることです。

高年妊娠で心配な方、上のお子様になんらかの先天異常があった方などご心配事をお持ちの妊婦さんはぜひ当外来をご受診ください。

出生前診断外来は、いつ、誰と受けたいの？

「出生前診断外来」では、ご夫婦のニーズに最適な選択ができるよう、初診時に遺伝カウンセラーと胎児の精密検査の超音波検査を行います。その後、ご希望を伺いながらNIPTや血清マーカー検査を行います。

- 妊婦さん一人でも構いませんが、可能な限り夫・パートナーとご一緒に受診をお勧めしています。
- 正確な検査の実施という観点から、妊娠11～13週に初診が望ましいのですが、それ以降のご受診であっても胎児科に対応いたします。

出生前診断外来のスケジュールは？

【初診時】 (妊娠11週～13週)
・遺伝力カウンセリング
・超音波検査

【2回目】 検査の実施
* NIPTや羊水検査 など

【3回目】 検査後カウンセリング など

産科 「出生前診断外来」 (毎週水曜日・午後) 自費診療となります。

初診時 ¥15,000円 (遺伝力カウンセリング料 ¥5,000円 + 超音波検査料 ¥10,000円/回)

お問い合わせ先 TEL: 0476-35-5576 [予約センター]
(月曜日～土曜日 9:30～17:30 ※日曜・祝日は除く)

国際医療福祉大学 成田病院
〒286-8520 千葉県成田市成田7-1082

NIPT認定基幹施設

* よろず相談外来 (2023年1月開始)

不育症、既往妊娠での問題があった方、
難治性不妊、筋腫・腺筋症合併、
合併症のある女性のプレコンセプション

毎週3-4名 様々な相談に対応

妊娠よろず相談外来
不妊・不育症、過去の妊娠出産の異常、持病のある方
妊娠に関するお悩みで専門医が対応する専門外来です

これから妊娠・出産をお考えの方、2回以上の流産を経験された方、過去に妊娠高血圧症候群や胎児発育不全などの妊娠中の異常を経験されている方、お子さまの成長に悩まれている方、自然流産をお持ちの方、なかなか妊娠しないカップルなど、今後の妊娠・出産について不安を抱えたり悩まれている方などに対応いたします。

こうした不安は妊娠前から適切に管理していくことで、お母さんや赤ちゃんを安全に導いてリスクを減らすことができます。妊娠・出産・育児生活を安心かつ安全に迎えるために、こんなこともご相談ください。

病気の合併症をお持ちの方

多くの病気の合併症は、妊娠前から適切に管理することでお母さんの赤ちゃんのリスクを減らすことができます。妊娠中に悪化する病気や薬に注意が必要になる病気の合併症は、より慎重な管理が必要になる病気の合併症は、分娩時に母体の負担が大きくなってしまったり合併症などもおこす可能性がありますので、妊娠前からの適切な管理が重要です。

現在内服しているお薬をやめた方がよいのか確認した方がよいのか悩まれている方もご相談ください。

2回以上の流産・死産(不育症)を経験された方

妊娠はするものの、2回以上の流産・死産を繰り返して結果的に子どもを産んでいない場合を「不育症」といいます。不育症にはさまざまな原因があるため、検査によって染色体異常や免疫異常の異常がないかなど、原因を絞りつけることで不安を解消し、その後の妊娠が順調となるよう診察します。今後の妊娠について不安をお持ちで、不育症についてお悩みが必要かどうか分からない方もご相談ください。

過去の妊娠経過でお悩みの方

過去に妊娠中の異常を経験されている方は、次に妊娠した時にまた同じことが起こるのではないかとお悩みの場合が多いです。次の妊娠時に同じことが起こる可能性が高い病気がある一方で、予防できる病気もあります。妊娠前からの管理が大切な病気もありますので、どんなお悩みでもお話しください。

産科 妊娠よろず外来 (毎週金曜日)
担当・永松健 (ながまつたけ) 部長 三村暢子 (みやむらひろこ) 医師
お問い合わせ先 TEL: 0476-35-5576 [予約センター]
(月曜日～土曜日 9:30～17:30 ※日曜・祝日は除く)

国際医療福祉大学 成田病院
〒286-8520 千葉県成田市成田7-1082